

岡山県立大学
(シラバス)

比較文化				桂 宥子
履修年次:1~4	2単位	前期	1コマ	課題が多いので、それを覚悟して受講すること。
【授業の目的】				
伝承童謡、児童文学、及び絵本の重要な作品をとりあげ、個性的な作品の背後にある文化的伝承の違いを明らかにする。さらに、同一作品が異なる文化圏においてどのように受容されているかを見ることにより、多文化社会実現の可能性について考察する。				
【授業内容】				
1 イントロダクション				
2 異文化の受容 I 日本におけるマザーグースの受容				
3 同上 II 英国におけるマザーグースの文化的背景				
4 同上 III 日本における『赤毛のアン』の受容				
5 同上 IV 『赤毛のアン』の作者モンゴメリの実像				
6 まとめ				
7 児童文学からみた英語圏諸国の比較文化論 I 英国				
8 同上 II 米国				
9 同上 III カナダ				
10 同上 IV オーストラリア・ニュージーランド				
11 絵本からみた比較文化論 I 英国の絵本				
12 同上 II 米国の絵本				
13 同上 III 『不思議の国のアリス』の挿絵論				
14 同上 IV 命をみつめる絵本考				
15 比較文化論のまとめ				
【テキスト】				
『英米児童文学史』(桂 宥子・牟田おりえ編著、ミネルヴァ書房、2004)				
【参考図書】				
『英米の絵本』(桂 宥子編著、ミネルヴァ書房、2006)				
その他は授業中にリストを配付する。				
【成績評価の方法】				
随時レポート課題を課す。学期末に期末試験を行う。 期末試験(50%)、レポート(30%)、学習態度(20%)により総合的に評価する。 なお、出席率2/3以上を期末試験の受験資格とする。				

現代の思想				子野日 俊夫
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
1.西洋近世哲学の誕生から現代までの大きな流れをとらえる。 2.二十世紀のさまざまな哲学的思想への理解を深める。 3.今後の世界が必要とする思想の方向性を見通す。				
1 デカルトによる近代哲学の始まり				
2 スピノザやライプニッツによる合理主義の展開				
3 ベーコンによるイギリス経験論の始まりとロック、ヒュームによる展開				
4 ホッブズ、ロックにおける個人と国家				
5 フランス啓蒙思想				
6 カントのコペルニクス的転回と近代的人間観				
7 近代哲学の集大成としてのヘーゲル				
8 ドイツ以外での19世紀の代表的思想(ベンサム、コント、キルケゴール)				
9 「価値の大転換」を告げるニーチェと現象学の創始者フッサール				
10 ハイデガーによる現象学の展開と「存在」への新たな問い				
11 分析哲学の誕生とウイットゲンシュタインの言語哲学				
12 レヴィ=ストロースにおける構造主義				
13 フーコーによる歴史や社会の新しい見方				
14 フランスのポストモダンの思想家たち				
15 現代の社会哲学				
【テキスト】				
【参考図書】				
授業中に適宜指示する。				
【成績評価の方法】				
平常点 30% 期末試験 70%				

音楽の鑑賞				岡崎 順子
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
1. 音楽の歴史と音楽様式の変遷をたどりながらさまざまな表現力を持つ音楽を鑑賞し、その発信するものを感じし言い表そうとするものを探求する。 2. 異なった時代や社会における音楽を通して、人間理解や共感を深める。 3. 音楽を愛する心情を養う。				
【授業内容】				
1 人間と音楽 2 古代ギリシャから中世の音楽 3 ルネサンスの音楽 4 バロックの器楽「四季」 5 バロックの声楽「マタイ受難曲」 6 古典派の音楽 7 古典派のオペラ「フィガロの結婚」 8 ロマン派の音楽(1) 9 ロマン派の音楽(2) 10 ロマン派のオペラ「ラ・ボエーム」 11 20世紀の音楽(1) 12 20世紀の音楽(2) 13 日本の伝統音楽 14 日本の歌謡史 15 現代の商業音楽				
【テキスト】				
『はじめての音楽史』(片桐 功他著、音楽之友社)				
【参考図書】				
『よくわかるクラシックの基本』(西村 理監修、西東社)				
【成績評価の方法】				
毎回のレポート				

ヨーロッパ文学				長谷川 弘基
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
ヨーロッパ文学をそれぞれの時代ごとに代表する数点の作品を読み、ヨーロッパ文学・文化の特徴について学ぶと同時に、文学鑑賞の方法についても学ぶ。特に映画との比較において、文学の特徴を確認する。				
【授業内容】				
1 イントロダクション 2 『十二夜』1(近代文学の誕生=ルネサンス) 3 『十二夜』2(自己=内面の発見) 4 『十二夜』3(登場人物=性格について) 5 『罪と罰』1(小説の発展) 6 『罪と罰』2(無意識の発見) 7 『罪と罰』3(形式・構造の意義) 8 前半のまとめ 9 『刑務所のリタ・ヘイワース』1(文学の拡大) 10 『刑務所のリタ・ヘイワース』2(文学の拡大2) 11 『刑務所のリタ・ヘイワース』3(文学の拡大3) 12 『刑務所のリタ・ヘイワース』4(解釈・読解とは何か?) 13 まとめー文学的体験の特徴 14 まとめー新しいメディアと文学 15 まとめー外国語文学の受容				
【テキスト】				
『十二夜』 シェイクスピア、岩波文庫、新潮文庫など 『罪と罰(上・中・下)』ドストエフスキー、岩波文庫(江川卓訳) 『刑務所のリタ・ヘイワース』スティーブン・キング、(『ゴールデンボーイー恐怖の四季 春夏編』収録(新潮文庫)				
【参考図書】				
多岐に渡るので、授業内に折にふれて紹介する。				
【成績評価の方法】				
中間レポート50%、 期末レポート 50%				

造形文化論Ⅰ(美学)				子野日 俊夫
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
1美について、さまざまな局面から理解を深める。2西洋の芸術観の変遷を知る。3日本独自の美意識についての理解を深める。 4デザインを含めた現代の美の新たな可能性を考える				
【授業内容】				
1 総論:感性の学としての美学		9 主観の側からの美の定義		
2 西洋の芸術観の変遷の概略		10 カントにおける近代美学の確立		
3 西洋の伝統的な美の基準(1)プロポーション		11 類美的な諸概念		
4 西洋の伝統的な美の基準(2)根源的光としての美		12 近代デザイン的美学		
5 西洋古代の芸術観		13 自然の美		
6 ルネサンスにおける美		14 日本的美意識の伝統		
7 ルネサンスの芸術観		15 現代における美の新たな可能性		
8 西洋近代の芸術観の展開				
【テキスト】				
【参考図書】				
授業中に随時指示する。				
【成績評価の方法】				
平常点 30% 期末試験 70%				

造形文化論Ⅱ(現代美術)				瀧本 雅志
履修年次:1~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
1960年代に出現したポップなイメージの波をサーフしてゆく授業。ファッション、映画、写真、建築、ロック、アート、等々の様々なジャンルを横断しながら、イメージが60年代にどのような曲折を経たかをトレースする。イメージにおける60年代とは、そしてイメージにおけるポップとは何であったのか(そして、何であり続けるのか)? ポップの可能性の検討へ向けてテイクオフすることを目指しつつ、まずは60年代のイメージの海でパドリングしてみよう。イメージの海に溺れないために(溺れるのも快樂だが…)、諸ジャンルの波を横断する際には、そのジャンルの簡単な歴史も押さえてゆく。いわゆるサブ・カルチャーの基礎知識も獲得しよう。				
【授業内容】				
1 イントロダクション:ヤングの爆発				
2 ミニ革命とモッズ(ファッション)				
3 クールの誕生(写真)				
4 アイドルとイエイエ(音楽)				
5 サウンドの壁とビーチ(音楽)				
6 スパイ、セックス、バイオレンス(映画)				
7 ポップ&オブ(アート)				
8 オフ・ミュージアム(アート)				
9 ミッドセンチュリー以降(デザイン)				
10 アンビルトとドローイング(建築)				
11 ヌーバル・ヴァーグ1(映画)				
12 ヌーバル・ヴァーグ2(映画)				
13 サイケデリックへのトリップ(音楽)				
14 エンドレス・サマーとしての60年代				
15 まとめ				
【テキスト】				
なし				
【参考図書】				
授業時に随時指示する				
【成績評価の方法】				
期末テストあるいはレポート				